

地方行政サービス改革の取組状況等(平成31年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
122122	千葉県	佐倉市	都市 IV-3

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.5%
本庁舎の夜間警備			96.6%	98.6%
案内・受付			92.0%	91.4%
電話交換			96.3%	94.1%
公用車運転			86.7%	87.6%
し尿収集			100.0%	98.0%
一般ごみ収集			100.0%	97.3%
学校給食(調理)			90.3%	69.7%
学校給食(運搬)			100.0%	90.7%
学校用務員事務			37.9%	35.6%
水道メーター検針			100.0%	98.9%
道路維持補修・清掃等			100.0%	97.1%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.0%
在宅配食サービス			96.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.6%
ホームページ作成・運営			100.0%	97.2%
調査・集計			96.4%	96.2%

※平成31年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(3)窓口業務

総合窓口の設置

設置状況: 設置予定無し → 予定時期: -

窓口業務の民間委託

委託状況: 委託有

BPRの手法を用いた業務分析

取組状況: → 業務改革効果

【参考】

類似団体		全国(市区町村分)	
総合窓口設置率	委託率	総合窓口設置率	委託率
19.4%	64.5%	13.2%	23.6%

(4)庶務業務の集約化

実施状況

実施済

委託状況

委託予定無し

【参考】

類似団体		全国(市区町村分)	
実施率	委託率	実施率	委託率
51.6%	6.5%	28.9%	3.2%

BPRの手法を用いた業務分析

取組状況: → 業務改革効果

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村分)導入率
体育館	2	2	100.0%		0		66.7%	39.8%
競技場(野球場、テニスコート等)	3	3	100.0%		0		59.0%	47.6%
プール	2	2	100.0%		0		62.9%	50.2%
海水浴場	0	0			0		0.0%	13.6%
宿泊休業施設(ホテル、旅館等)	0	0			0		72.7%	86.5%
休業施設(公民館、海山の家等)	0	0			0		50.0%	76.0%
キャンプ場等	2	0	0.0%	当該公の施設は「印旛沼周辺地域活性化計画」に位置づけられており、周辺地域との横断的な連携や事業の検証等を、市が主体的に推進する必要があるため。	2	周辺地域との横断的な連携や事業の検証等を市が主体的に行うため、自治体職員を常駐で配置する必要がある。	57.7%	58.1%
産業情報提供施設	0	0			0		78.8%	75.0%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		100.0%	64.2%
開放型研究施設等	0	0			0		40.0%	52.0%
大規模公園	2	1	50.0%	使用料を徴収する施設が少なくないため、市場原理がなりたつに「施設である」	0		70.6%	42.6%
公営住宅	1	0	0.0%	本市の公営住宅の経営では指定管理導入のコスト削減効果が見込めない。また、入居決定などは市が行う必要があり、指定管理者制度にはなじまないため。	0		27.5%	14.3%
駐車場	0	0			0		67.9%	38.0%
大規模公園、斎場等	0	0			0		21.1%	21.8%
図書館	4	0	0.0%	使用料を徴収する施設ではないため、市場原理がなりたつに「施設である。また、サービスの継続性、質の低下が懸念される。	4	現時点では自治体職員の常駐が望ましいが、効率的・効果的な運営方法について引き続き検討する。	25.8%	19.4%
博物館(美術館、史料館、歴史館、動物園等)	1	0	0.0%	美術館は、継続性が必要な学芸業務のほか、地域に密着した活動や教育的な活動があり、現状では指定管理者にしないため。	1	現時点では自治体職員の常駐が望ましいが、効率的・効果的な運営方法について引き続き検討する。	31.9%	27.8%
公民館、市民会館	8	0	0.0%	平成30年7月から有料化したが、使用料徴収の実績を行い、市場原理が働くかどうかも含め、導入の是非について検討する。	8	現時点では自治体職員の常駐が望ましいが、効率的・効果的な運営方法について引き続き検討する。	30.5%	23.0%
文化会館	1	0	0.0%	佐倉市民音楽ホールは、運営で運営することにより、地域の特性に応じた効果的かつ効率的な施策を展開しているため。	1	現時点では自治体職員の常駐が望ましいが、効率的・効果的な運営方法について引き続き検討する。	66.1%	51.8%
会館等、研修所等(青少年の家を含む)	1	1	100.0%		0		51.7%	48.0%
特別養護老人ホーム	0	0			0		100.0%	73.5%
介護支援センター	0	0			0		75.0%	50.4%
福祉・保健センター	5	5	100.0%		0		59.2%	53.2%
児童クラブ、学童館等	35	35	100.0%		0		35.1%	23.0%

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済

○

【参考】

類似団体		全国	
実施率(類似団体)	単独クラウド	単独クラウド	単独クラウド
3.2%	38.7%	28.9%	39.4%

実施予定

○

検討中

○

未実施

○

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
策定割合	策定割合
100.0%	99.8%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済

○

策定予定

○

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
策定割合	策定割合
100.0%	99.8%

(7)地方会計の整備

統一的な基準による財務書類の作成状況(一般会計等財務書類)

作成済

○

作成予定

○

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
作成割合	作成割合
100.0%	94.8%

(注1)統一的な基準による地方会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するよう要請されているが、当該調査における「作成済み」は、平成27年度から平成28年度までのいずれかの決算に係る財務書類を作成した団体をいう。